

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成25年11月25日(月)～12月1日(日)〔平成25年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘 でした。

感染性胃腸炎は定点当たり16.36人と前週(10.12)より患者報告数は急増しており、今後の更なる増加に注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.94人と前週(1.27)より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

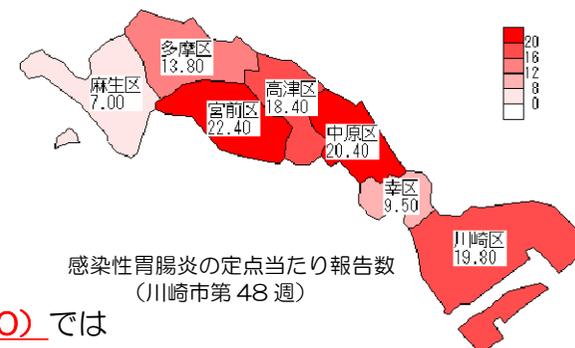


警報基準値はもう目前！！～感染性胃腸炎の流行～

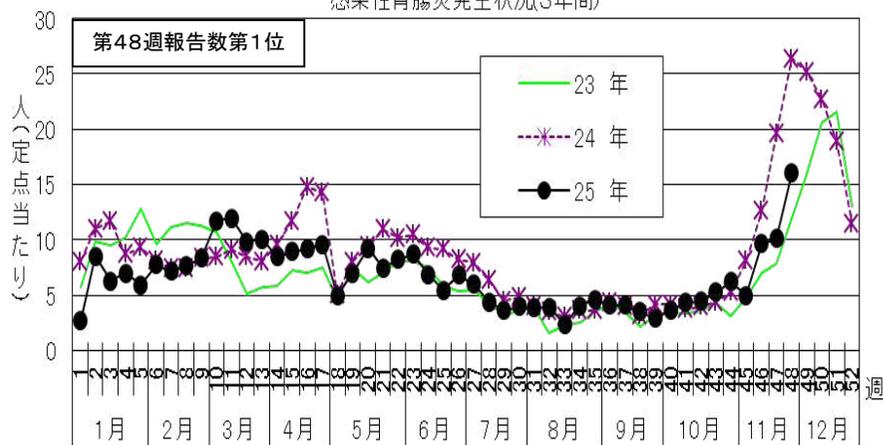
現在、全国的に感染性胃腸炎患者の増加が見られ、**川崎市においても11月以降報告数が急増**しています。

川崎市における第48週の定点当たり報告数は16.36人であり、国で定める警報基準値(定点当たり20人)に大きく近づきました。

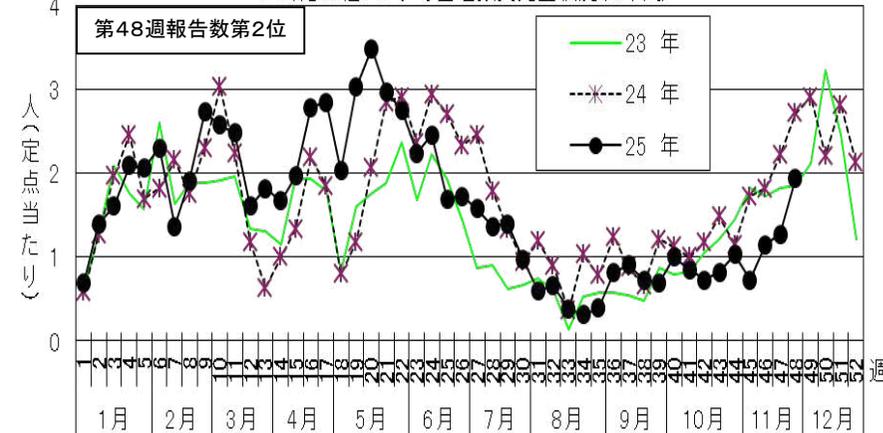
すでに**中原区(20.40)**や**宮前区(22.40)**では警報基準値を超えているため注意が必要です。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



この時期の感染性胃腸炎の主な原因「ノロウイルス」

ノロウイルスに感染すると
どんな症状がでるの？

潜伏期間は24～48時間で、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、発熱は軽度です。通常、これらの症状が1～2日続きます。

抵抗力が弱い高齢者や乳幼児は、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢で脱水症状がひどくなることがあるため、特に注意が必要です。



ノロウイルス対策
～効果的な加熱方法～

ノロウイルスの汚染のおそれがある二枚貝などの食品では、**中心部が85～90℃で90秒以上の加熱**を行うことで、ウイルスの感染性をなくすことができます。